

東左野史

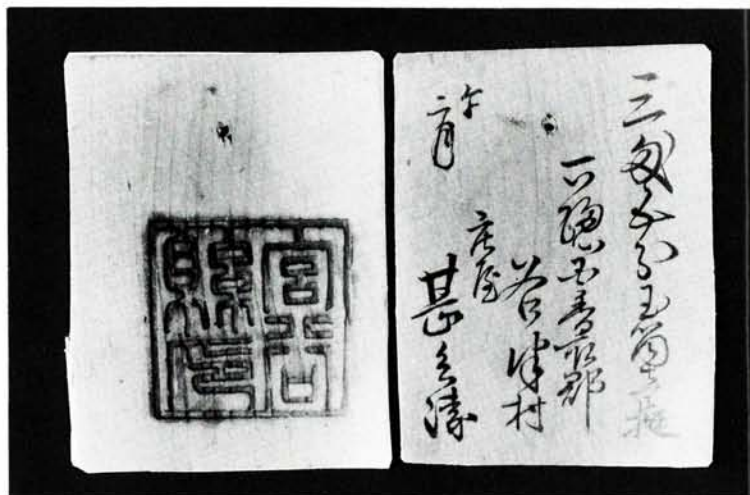
下卷

題字 東庄町長
向後 彰

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
七三	七	遊情× 不得已×	遊情。 不得已。	六五〇	九	山田峯生	山田峯生
七三	七	不得已×	不得已。	六五七	三	昭和二十六年十一月三日	昭和二十六年十一月一日
一三四	第26表	佐原警察署 一六人×	人を削除	六五九	二	鈴木幸次	鈴木幸次
一四一	第31表 下から二行目	岡田1人、小冊1人	岡田1人、小冊1人	六五九	七	昭和三十年一月十一日から十 中旬	昭和二十九年十月から翌年二月 中旬
一四四	六	宇佐美万太郎	宇佐美万次郎	六六七	四	訃報刊載	訃報刊載
二一一	終りから	凌瀟×	凌瀟。	六八八	二	東条村	東条村
二七八	終りから	二十三年	二十二年	七九六	六	阪東太郎	坂東太郎
二九二	終りから	谷本×	谷本。	八五六	五	(後天保止改元)	削除(西暦・和暦は左へ移す)
三一一	終りから	明治十七年	明治十七年	八九七	二	大坂×	大阪。
三一一	終りから	明治四十年	明治四十一年	九四九	五	葦芽神社	葦芽神社
三二一	終りから	明治四十年	明治四十一年	九四九	五	葦芽神社	葦芽神社
三二八	六	薬製品	薬製品	九五四	七	葦芽神社	葦芽神社
三四四	第95表	(昭11)	(大11)	一〇〇五	六	松こそ	松こそ
三五七	終りから	血精×	血精。	一〇一五	四	伊弉册命外	伊弉册命外
三九四	終りから	喚発×	喚発。	一〇一五	四	明和年間	不詳(貞応年間か)
四〇二	四	笹川町開設	笹川村開設	一〇四三	七	昭和40.2.27	昭和40.4.27
四二二	九	帰省致す可	帰省致す可	一〇四三	七	1 2 3 4 5 6 × × ×	1 2 3 4 5 6 7 8 9
四二七	終りから	諸町村八組合	諸町村ハ組合	一〇四三	二	48.2.19	削除
四八三	終りから	談つてくれた。	語つてくれた。	一〇八五	二	# 字花香入	# 字花香入
四八四	第139表 上段	會計×	合計	一一〇三	六	筆弟高木葦索	筆弟高木幸索
五七四	終りから	予備調整×	予備調査	一一二二	七	七行目の下に加える。	(これより大選挙区制となる)
六一〇	第6表 終りから	12×24子宝会表彰(県PTA)	11・1子宝会表彰(千葉県教育 委員会教育功勞表彰)	一一二二	六	(これより大選挙区制となる)	削除
六一一	終りから (三段目)	教育委員会×	P.T.A連絡協議会	一一二二	六	塚本敏夫×	塚本敏男
六四九	終りから	竹蓋誠×	竹蓋斌。				

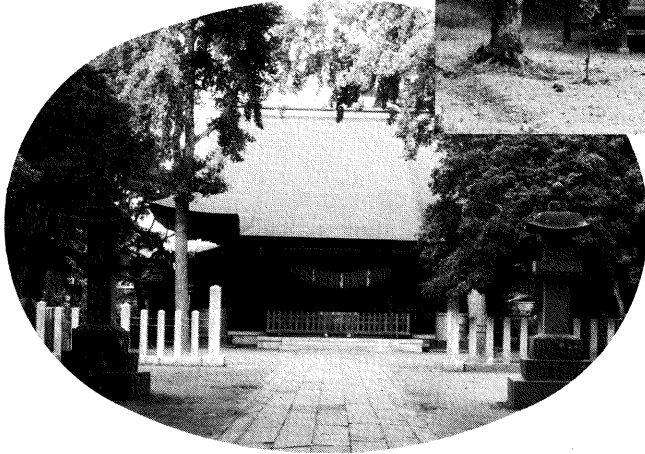


明治8年地租改正の時の絵図(旧笹川役場資料)



宮谷県の鉄砲鑑札(谷本馨家所蔵)

諏訪大神



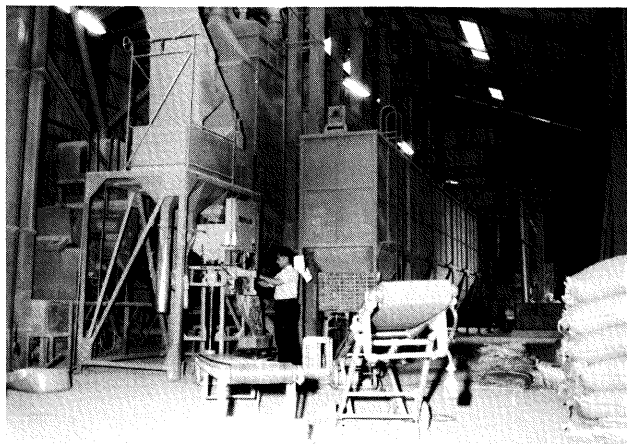
左右大神



小野神社



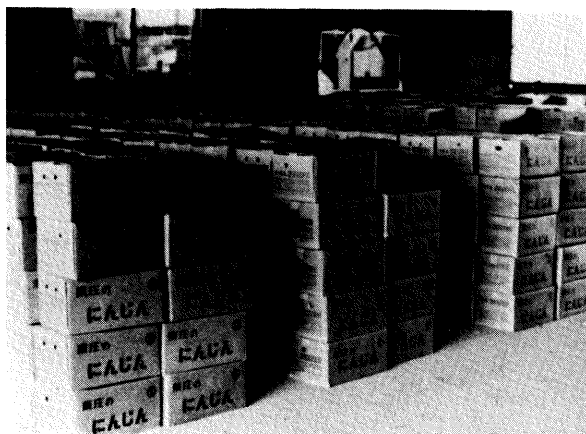
東大社



桁沼ライスセンターの内部（桁沼土地改良区経営）

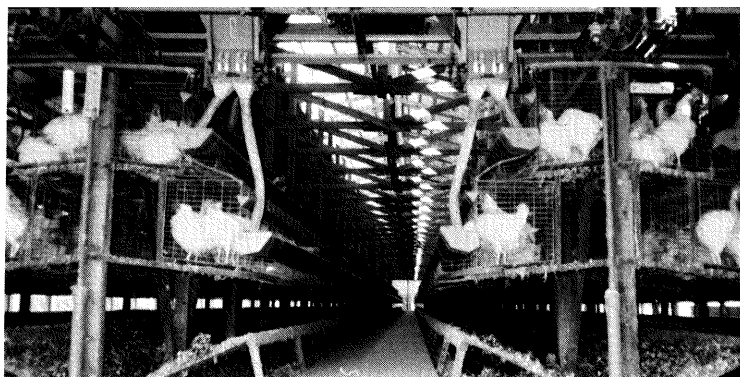


コンバインによる稲の刈取り作業

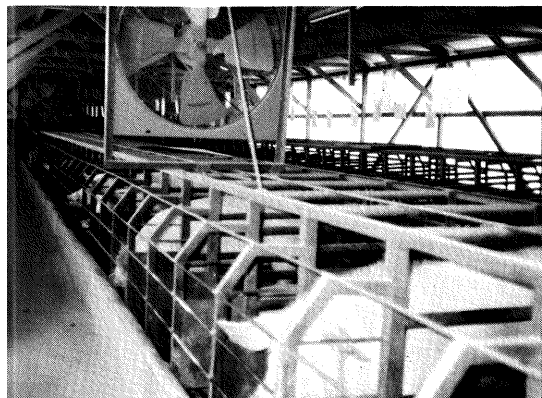


東庄町特産の人参（昭和45年10月国指定産地）

養鶏場の内部



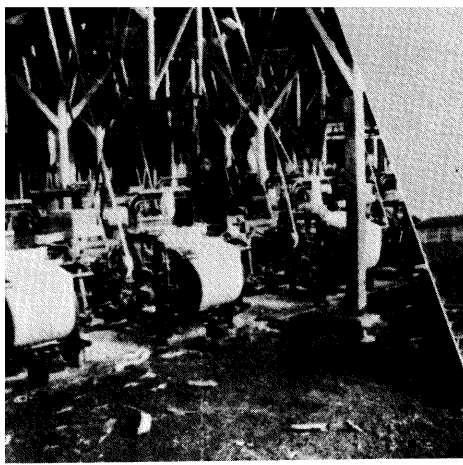
養豚場の内部



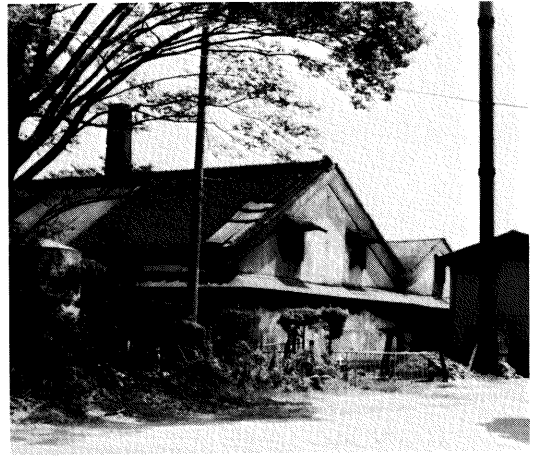
東庄町食肉センターの内部

牛舎の内部

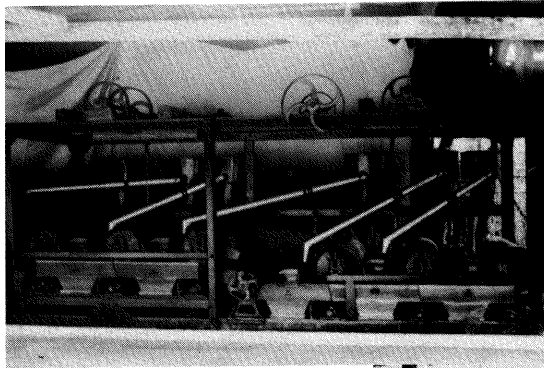




縫製工場（昭和二十八年代）



入正醤油工場外観



澱粉工場（昭和初期）

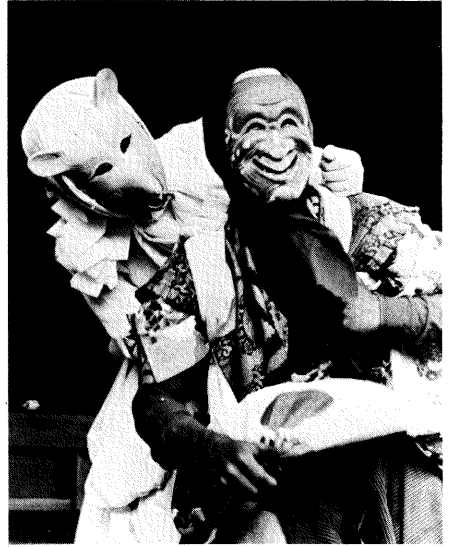




利根川のシジミ漁



利根川のつり風景



笹川の神楽（県指定無形文化財）



東大社の桜井御幸（御浜下り）

町立東庄中学校



利根川河口堰

東庄県民の森



東庄町史(下巻)

目次

第四章 近代

第一節 新しい世の中……………三

(一) 明治政府のもとで……………三

1 新しい世の中への動き……………三

2 地方政治の変革と郷土の村々……………八

(1) 宮谷県治下の郷土の姿 8
(2) 新治県治下の郷土の姿 15

3 千葉県への編入と村々の変化……………二九

(二) 三新法による村治の変遷……………三三

1	連合村の誕生	三
2	戸長役場時代	三五
3	村会の開設	四一
(三)	地租改正	四五
(四)	徴兵制度	五九
(五)	新政府の宗教政策と郷土の動向	六四
	第二節 文明開化	七〇
(一)	寺子屋の教育とその普及	七〇
1	庶民教育のおこり	七〇
2	寺子屋・私塾の普及とその実情	七一
(二)	学制頒布と近代教育	八〇
1	学制頒布	八〇
2	学校設立と村々	八七

(三) 交通・通信の発達……………九

1 陸上交通……………九

(1) 陸上交通の姿 99 (2) 鉄道 102

2 水上交通……………一〇四

(1) 利根川の船運と高瀬船 104 (2) 利根川の蒸気船 107

(3) 渡し舟 115

3 通信……………二九

4 生活文化の向上……………二三

(1) 医療 122 (2) 社会事業 127

5 安全なくらし……………二九

(1) 消防 129 (2) 警察制度 133

6 文化的活動……………三六

(四) 自由民権運動……………一四一

第三節 殖産興業……………一五一

(一) 農業生産の姿……………一六一

1	一般的生産物	一七三
(1)	米	172
(2)	畑作物	180
(3)	林産物	185
(4)	ワラ細工	186
(5)	商品作物	188
(6)	畜産	195
2	生産への努力	一九六
(1)	開墾	196
(2)	耕地整理	203
(3)	災害に備えて	211
(4)	栽培技術の向上	217
(5)	農業諸団体の動き	219
(二)	地場産業	二二七
1	醸造業	二二七
2	織物業	二二三
(三)	水産業の姿	二三四
1	水産物のとれ高	二三六
2	漁法	二三六
3	漁業組合	二四三
(四)	流通経済の姿	二四五

1	商 業	二四五
2	銀 行	二四九
(五)	郷土の人々の経済生活	二五二
1	自給自足の農村生活	二五二
2	農作業の実態	二六一
3	農家の収入と支出	二六八
	第四節 村政のあゆみ	二八二
(一)	町村制施行と新村の誕生	二八二
1	神代村	二八七
2	笹川村	二八八
3	橘 村	二八九
4	東城村	二九〇
(二)	村会とその機能	二九〇

(三)	村々の予算	二九四
(四)	郡会議員	三〇〇
(五)	県会議員	三一一
(六)	佐原区裁判所東城出張所	三一二
	第五節 日清・日露の戦争と村々の動向	三二三
(一)	日清戦争と村々の動向	三二三
(二)	日露戦争と村々の動向	三三六
(三)	日露戦争と郷土	三三一
	1 産業への影響	三三一
	2 農事改良運動と農会	三三二
(四)	日露戦争後のうごき	三三三

第六節 大正時代の社会とその動向……………三四

(一) 大正時代の郷土のすがた……………三四

1 大正のまくあけ……………三四

2 第一次護憲運動と大正政変……………三五

3 第一次世界大戦と好景気……………三五

4 郷土の生活の実態……………三八

5 諸団体の活動と農村問題……………四五

(1) 地主会の誕生 345 (2) 戸主会 347 (3) 部落(区)

自治組織 349

(二) 生活向上発展への努力……………五二

1 大戦後の不況……………五二

2 流行病とのたたかい……………五三

3 農業生産向上のための努力……………五八

(1) 水田耕作 358 (2) 畑作 372 (3) 養蚕業 376

(4) 農産加工 377

4	工 業	三九七
	(1) 醸造業	379	
	(2) 澱粉業	382	
5	利根川の水産	三八四
6	商 業	三八七
(三)	教育と文化	三九三
1	教育の発展	三九三
	(1) 初等教育のあり方	393	
	(2) 自由教育をめぐる	396	
2	社会教育の歩み	三九九
	(1) 神代村の社会教育	400	
	(2) 笹川町の社会教育	401	
	(3) 橘村の社会教育	403	
	(4) 東城村の社会教育	465	
3	文化施設の整備(図書館)	四〇七
	(1) 神代村立図書館	408	
	(2) 笹川町立図書館	409	
	(3) 橘村立図書館	411	
	(4) 東城村立図書館	412	
(四)	交通・通信	四一六
1	鉄道延長運動	四二六
	(1) 香取郡への鉄道延長	416	
	(2) 松岸線延長運動	417	

2 電話の開通……………四三三

第七節 町村制の動向……………四三六

(一) 郡制廃止……………四三六

(二) 町村行政……………四三一

第八節 関東大震災……………四四一

(一) 大震災と東庄地域のようす……………四四一

(二) 震災後の世相さまざま……………四五二

第九節 昭和恐慌下の郷土……………四五六

(一) 恐慌の深刻化と自治体の動き……………四五六

1 恐慌の進行と合理化への努力……………四五六

2 活路を求めて……………四六九

(二) 増産への努力……………四七三

1 農村経済自立更生活動……………四七三

(1) 農業 473 (2) 養蚕業 476 (3) 畜産業 478

(4) 水産業 483 (5) 農産加工 486 (6) 甘藷苗生

産 490 (7) 工業 491 (8) 流通機構 495 (9) 出稼

ぎについて 495

2 恐慌下に進められた開発(耕地整理)……………四九七

(1) 笹川町沖ノ洲耕地整理組合 497 (2) 笹川森山耕地

整理組合 498 (3) 兼田堰頭末(金田・大久保溜池開

田) 498 (4) 窪野谷耕地整理組合 504 (5) 東今泉水利

組合 506

(三) 教育の変質……………五〇六

1 軍国主義化する教育……………五〇六

(1) 国民学校の教育 506 (2) 青年学校 510

(四) 進展する交通や生活……………五一四

第十節 戦時下の生活……………五二九

(一) 日中戦争の進展と第二次世界大戦……………五二九

1 戦時体制下の村々……………五二九

(1) 常会活動 531

(2) 八木山共同救護会 533

(3) 産業組合・共同組合等 536

(4) 戦時生活刷新運

動 537 (5) 慰問袋 540

2 太平洋戦争から本土決戦体制へ……………五四二

(1) 昭和十七年ごろの状況 543

(2) 村常会 548

(3) 町村銃後奉公会 550

(4) 昭和十八年 552

(5) 昭和十九年 556

(6) 昭和二十年 558

(7) 国民義勇隊結成 559

(8) 臨戦配置 561

(9) 食糧を始め物資の窮乏 562

1 佐松線の開通……………五四四

2 道路交通……………五四三

(1) 笹川・飯岡線 523

(2) 多古・笹本線 524

(3) 道路愛護会運動 524

(4) 諸車交通 526

(二) 大利根用水事業……………五六四

- 1 大利根用水事業への反対運動の概況……………五六六
- 2 大利根用水事業……………五六八

第五章 現代

第一節 終戦と各種の改革……………五七三

(一) 新しい出発……………五七三

- 1 十五年戦争の果てに……………五七三
- 2 住民生活の実態……………五七八

(二) 農地改革……………五八七

- 1 GHQの農地解放に関する覚書……………五八七
- 2 本町における農地委員会の発足……………五八九
- 3 本町の改革の進行状況……………五九三
- 4 改革の終了とその成果……………六〇〇

(三)	六・三制教育	六〇五
1	新しい教育制度と中学校の発足	六〇五
2	各小学校の沿革	六二五
3	幼稚園	六四五
4	教育委員会	六五一
5	戦後の社会教育	六五一
(四)	民主政治への努力	六七一
1	新しい民主政治の実現をめざして	六七一
2	さまざまな改革	六七四
(1)	警察制度	六七四
(2)	その他の改革	六七八
(五)	農業組織の变革	六八〇
1	農業協同組合	六八〇
2	農業団体の活動	六八五
3	あかるい農村をめざして	六八八

(六)	戦後農政と農民生活	六九三
1	占領下の農政	六九三
2	供出制度の情況	七〇〇
3	食糧増産への努力	七〇六
(七)	納税	七〇八
1	戦後の税制	七〇八
2	納税貯蓄組合	七一
	第二節 東庄町の誕生	七二八
(一)	町村合併と新町の誕生	七二八
1	町村合併促進法の目的と実現	七二八
2	シャウプ勧告と地方財政	七三四
(二)	新町への基本構想	七三六
1	合併への具体的構想	七三六

2	合併に臨む各町村の動向……………	七三二
3	東庄町の発足……………	七四〇
4	新町建設計画……………	七四四
(三)	経済の進展……………	七四八
1	行財政規模の拡大……………	七四八
2	新しい経済発展への「みち」……………	七五二
(四)	町民生活と意識の変化……………	七五五
1	町民意識の特色……………	七五五
2	新しい町づくりへの努力……………	七六八
第三節	災害と対策……………	七八二
(一)	戦後災害の概観……………	七八二
(二)	台風と農作物の被害……………	七八六
(三)	塩害と利根川河口堰……………	七八八

(四) 伝染病対策……………七九九

(五) 地震・防災対策……………八〇三

第四節 新しい町づくり……………八二七

(一) 第一次東庄町基本構想……………八二七

1 町の将来展望……………八二八

(1) 町の発展方向 818 (2) 開発の基本 819

(3) 社会、経済の将来像 819

2 町の施策の大綱……………八二〇

(1) 基礎的条件整備の方向 820 (2) 産業振興施策の

方向 822 (3) 生活環境整備の方向 823 (4) 社会

福祉保健施策の方向 824 (5) 教育施策の方向 825

(6) 行政近代化の方向 826

(二) 住民の幸を求めて……………八三六

(三) 東総用水事業……………八三〇

第六章 民俗・慣行

第一節 神社の祭礼……………八三九

(一) 東大社の祭礼……………八四〇

1 春季大祭……………八四〇

2 秋季大祭……………八四五

(二) 諏訪大神の祭礼……………八四七

1 春季大祭……………八四七

2 秋季大祭……………八五七

(三) 左右大神の神楽……………八六三

(四) 小野神社の神幸祭……………八六五

(五) オビシヤ……………八六六

(六) 祇園祭り……………八七二

(七) 東庄地域の芸座……………八七三

(八) 松沢熊野神社の御神幸祭……………八七五

(九) 雨乞い祈願……………八七八

第二節 寺院と行事……………八八〇

(一) 町内の寺院……………八八一

1 天福寺……………八八一

2 東福寺……………八八二

3 西福院……………八八四

4 延命寺……………八八五

5 妙幢院……………八八七

6 秀蔵院……………八八八

7 林福寺……………八八八

8	東泉寺	八八九
9	吉祥院	八九〇
10	蔵福寺	八九〇
11	福聚寺	八九一
12	満願寺	八九二
13	東徳寺	八九二
(二)	町外の寺院	八九三
1	東栄寺	八九三
2	来迎寺	八九三
3	芳泰寺	八九四
4	樹林寺	八九五
(三)	だらぶく(茶羅富久)	八九六
第三節	民間信仰	八九八
(一)	天神講	八九八

(二)	子安信仰	八九九
(三)	さんや講	九〇二
(四)	庚申講	九〇三
(五)	伊勢講	九〇五
(六)	大師講	九〇七
(七)	太子講	九〇七
(八)	水神講	九〇七
(九)	念仏講	九〇八
(十)	お大師参り	九〇九
1	笹川大師	九〇九
2	しも大師(キベタ大師)	九一〇
(十一)	お日待講	九一二

第四節 風俗習慣……………九二四

(一) 生産・生業に関する風習……………九二四

1 生産・生業に関する儀礼……………九二四

2 建築儀礼……………九二二

3 高瀬船、進水式の風習……………九二四

(二) 人の一生……………九二五

1 出産・育児……………九二五

2 結婚儀礼……………九三三

3 葬送儀礼……………九三八

第五節 年中行事……………九四二

(一) 年に一回だけ行われるもの……………九四三

(二) 年に数回、定例の月に行われるもの……………九五三

(三) 随時行われるもの……………九五五

- (四) 大体毎月一回行われるもの……………九五六
- (五) 定例の年に行われるもの……………九五七

第六節 伝 承……………九五九

(一) 方 言……………九五九

- 1 名詞的なもの……………九五九
- 2 主に動作をあらわすもの……………九六四
- 3 植物・動物名……………九六九

(二) 俚諺と俗信……………九七〇

- 1 俚 諺……………九七一
- 2 俗 信……………九七三

(三) 民話・伝説……………九七五

- 1 洲か山か―須賀山伝説……………九七五
- 2 高部のチンケお染と羽計の権八……………九七六

3	白幡のさと	九七七
4	大蛇のからんだ鉄牛禪師の墓(その一)	九七八
5	城山の大蛇(その二)	九七九
6	花香稻荷縁起	九八〇
7	見ずの若忍、買わずの存良	九八一
8	小南の七不思議	九八四
9	黒部川伝説	九八五
10	鹿の渡、竜神山伝説	九八八
11	椿湖開発による新村の名付け伝説	九八八
12	「舟引き」の地名伝説	九九〇
13	和尚塚(上人塚)の伝説	九九一
14	東庄七井	九九二
15	姥捨伝説	九九三
(四)	俚謡(きとうた)	九九四
1	地んぎょうつぎの唄	九九四
2	するすひきの唄	九九五

3	淡島講の祝い歌	九九五
4	小南の子守り歌	九九八
5	田植歌	一〇〇〇
6	東庄音頭	一〇〇二
7	小南区の謠 <small>うた</small>	一〇〇三
(五)	ほめ言葉	一〇〇七
1	鹿野戸区	一〇〇七
2	東今泉区	一〇〇八
3	小南区御園	一〇〇九
(六)	童戯	一〇一〇
第七節 社寺一覧・文化財		
(一)	社寺一覧	一〇一四
1	神社の一覧	一〇一四
2	石宮・石祠一覧	一〇一八

3	寺院一覧	1033
(二)	文化財	1036
1	県・町指定文化財	1037
2	郷土の文物	1043
3	文献・記録	1046
4	金石文資料	1059
(1)	概説	1059
(2)	東大社所蔵の金石文資料ほか	1062
(3)	板碑	1068
(4)	宝篋印塔	1074
(5)	五輪塔	1075
(6)	くりから	1076
(7)	庚申塔	1077
(8)	聖徳太子塔	1078
(9)	その他の仏神	1079
(10)	仁和寺陶製円形三重塔	1079
(11)	鰐口	1081
(12)	勅額	1082
(13)	馬頭観音	1093
(14)	道しるべ	1095
(15)	参詣記念、廻国供養碑	1099
(16)	筆子碑	1102
(17)	その他の碑および石造物	1104

年表	二二三
戦没者名一覧表	二四一
歴代町村長一覧	二六六
東庄町歴代 町長 助役 収入役	二六八
東庄町歴代議会議長一覧	二六九
東庄町歴代議会議員一覧	二七〇
東庄町歴代農業委員一覧	二七三
あとがき	
町史編さん年譜	
編さん関係者一覧	